

塩化物 (300)

型式 WAK-Cl(300)

硝酸銀比色法による

Silver nitrate Method

主試薬 フタレインコンプレクソン

測定範囲 200以下～300以上 mg Cl⁻/L (ppm)

330以下～500以上 mg NaCl/L (ppm)

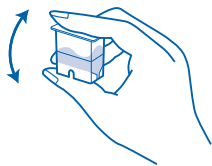


有害性

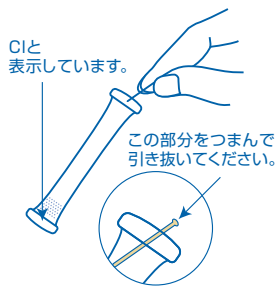
測り方



① 検水を専用カップの線 (1.5mL) まで入れ、滴ピンのK-1試薬を2滴 (約0.07mL) 加えます。



② 蓋をしてゆっくり1回だけ振ります。



③ チューブ先端のラインを引き抜きます。






④ 穴を上にして、指でチューブの下半分を強くつまみ、中の空気を追い出します。



図のように穴をカップの底につけたまま全量吸い込んでください。

⑤ そのまま④の状態、穴を検水の中に入れ、つまんだ指をゆるめ、全量吸い込みます。(検水はチューブの半分入ります。)

⑥ かるく2～3回振りまぜて、10秒直後に下記の色と比べます。

Cl濃度	(NaCl濃度)	
200mg/L 以下 (こげ茶色)	(330mg/L 以下)	→ 
250mg/L 付近 (薄茶色～灰色)	(420mg/L 付近)	→ 
300mg/L 以上 (白く濁ります)	(500mg/L 以上)	→ 

比色と測定値の読み方

指定時間後にポリチューブ内の水の色を標準色と比べ、一番近い色の値がその検水の測定値になります。標準色の色と色の間の場合は、だいたいの中間の値を読んでください。



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11
TEL:03-3721-9207 FAX:03-3721-0666
<http://kyoritsu-lab.co.jp> kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp

パケットテスト 塩化物 (300)

注意

1. この方法では検水中の塩化物イオン (Cl^-) のみが測定されます。
2. 水道水中の消毒用塩素 (残留塩素で次亜塩素酸ナトリウムなどを用いています。) の測定には、下記の製品を使用してください。
残留塩素 (遊離) WAK-CIO-DP
残留塩素 (高濃度) WAK-CIO (C)
3. pHが6~10の範囲をこえる検水は希硫酸または希水酸化ナトリウム溶液等でpH調整してください。
4. K-1試薬を滴下する時は、滴ピンを垂直に逆さにして、ゆっくり1滴ずつ2滴加えてください。連続して滴下したり、うまく滴下できなかったときには、中の液を捨てて専用カップを洗った後に、測定をはじめからやりなおしてください。
5. 1回で検水をポリチューブの半分近くまで吸い込めなかった時には、穴を上にして空気を追い出し、もう一度やりなおしてください。
6. 比色する時に、多少試薬が溶解せずに残っていても測定には影響ありません。
7. 検水の温度は15~30℃で行なってください。水温が低いと発色に時間がかかります。
8. 比色は昼光で行なってください。直射日光や一部の蛍光灯、水銀灯では比色が困難になることがあります。
9. 測定後、専用カップは必ず洗ってください。
10. 発色後にラインをポリチューブ先端の穴に戻すと、ポリチューブ内の水がもれなくなります。

共存物質の影響

標準色は、標準液を用いて作成しています。他の物質の影響が考えられる場合は、公定法と比較するか、標準液添加法により測定値を確認してください。

臭化物イオン、よう化物イオン、シアン化物イオン、りん酸イオンなどによっても発色します。

試薬に関するお知らせ

本製品は、K-1試薬に硝酸銀を含んでおり、取扱者へのMSDSの提供を義務づけた「PRTR法 第一種指定化学物質」、
「労働安全衛生法施行令 名称等を通知すべき有害物」に該当します。なお、「毒物及び劇物取締法」には該当しません。
省資源の観点から、本製品にはMSDSを添付しておりませんので、ご購入の際には弊社までご請求ください。

パケットテスト使用前、使用後の取扱い注意

- 使用済みのパケットテストは必ず持ち帰り、「燃えるゴミ」として処分してください。なお、分別収集などで燃えるゴミとして出せない時には、「燃えないゴミ」で処分してください。(パケットテストのポリチューブはポリエチレンできています。)
- 子供の手がとどかない、乾冷暗所に保管し、ラミネート包装を切った後は、なるべく早くご使用ください。

滴ピンの K-1 試薬は硝酸銀を含んでおり、有害性があります。
皮膚、被服などにつかないよう、取扱いには十分注意し、ついた場合にはすぐに水で洗ってください。
廃棄するときには多量の水で希釈するか、あるいは廃棄物処理業者に委託してください。
使用前、使用後共に、ポリチューブの内容物は外に出さないようにしてください。

内容物が目に入ってしまったら → すぐに15分間以上、水で洗い流してください。

内容物が手や皮膚にふれたら → すぐに水で洗い流してください。

内容物が口に入ってしまったら → すぐに水で口の中を洗い流してください。

内容物を飲み込んでしまったり、上記の処置後に異常があった場合には、すぐに医師の診断を受けてください。